



秘境駅：雄信内駅

～今月の駅ノート～

今月の「駅ノート」は、貴重な木造駅舎の雄信内駅です。



裸電球が似合う渋い木造駅舎

「私は、学生時代、この駅を利用していました。懐かしさで涙が出そうになります。無人駅になってしまいましたが、雄信内駅が残っていてうれしかったです。」

＜取材記者・プチ鉄Ｙ＞

雄信内駅を訪れ、その頃の思い出が一気によみがえったのでしょうか…。

涙が出そう…、うなずける年頃になってきました…。

駅ノートには、「気になって降りてみた」、「あまりにも素晴らしい雰囲気、衝動で降りた」、「長年憧れていた」など木造駅舎への愛しさにあふれた書き込みが多く残されています。

人々をひきつける木造駅舎の雄信内駅。いつまでも残してほしいものです。

古き時代へタイムスリップできるかのようなレトロな雄信内駅へ向かい、その魅力に迫ってみませんか？



無量谷 咲杜くん

(平成27年9月20日生・下沼)

お父さん 勉 さん
お母さん 綾香 さん



我が家の第一子咲杜です。六ヶ月頃からずりばいが始まり、お座り、ハイハイ、最近ではつかまり立ちも得意です。笑顔いっぱい元気よく優しい子に成長して欲しいです。

寺本 遥希くん

(平成27年9月25日生・幌延)

お父さん 尚也 さん
お母さん 結菜 さん



寺本家の次男 遥希です。いつもお兄ちゃんと一緒にイタズラして遊んでいます。特技は高速ズリバイ！これからもたくましく育ってね

ほろのべの裏窓

■桜をはじめ色とりどりの花が咲き出すこの季節、お散歩にはもってこいです。町を歩くワンちゃんもどこか嬉しそう。ただいま役場では「秘境駅ウォーキングラリー」を開催しておりますので、ぜひ歩きながらお花見を楽しんでいただきたいと思います。

■先月号から広報誌の作成を新しく担当することになりました。幌延には住み始めたばかりなので、取材に行くたびに町民の皆さまの温かい人柄と、「こんなイベントがあるんだ」という発見に感動しっぱなしです。不慣れでしたらない点多々ありますが、皆さまに「面白い」と感じていただける広報誌を作るべく、日々精進してまいります。たいと思いますのでよろしくお願いたします。

●広報へのご意見、ご要望をお寄せください●
総務財政課総務グループ 電話 5-1111 / 告知端末機 5-8811

秘境駅の里「ほろのべ」鉄道フォトコンテスト

スマホ・ケータイコース準大賞の2作品のうちの1つは、名寄市の志々見敦様の作品「夜に輝く駅のトモシビ」が選ばれました。

【スマホ・ケータイコース 準大賞】



＜夜に輝く駅の「トモシビ」：志々見 敦 様＞

今では見られない、午後5時42分の幌延駅の一枚。特急スーパー宗谷4号(上り)と普通列車(下り)との待ち合わせ風景です。

いつもと違うスーパー宗谷。この日は、通常車両が故障などで運行できなかったため、ノースレインボーエクスプレスという珍しい列車で運行していたでしょう。

駅構内の光源で虹色の車体がうっすら見て取れます。日没後の薄明かりで山影が見える微妙な自然光とトモシビとなって光り輝く人工光のバランスが印象的な作品です。



(平成28年4月 末日現在)	男	1,239(+19)
※()内は前月比	女	1,172(±0)
	計	2,411(+19)
	世帯数	1,268(+20)